

## 中 間 答 申 書

平成18年8月29日、当委員会に対し、諮問のありましたことについて、別紙のとおり中間答申いたします。

なお、「民営化等について」は、後日の最終答申時とさせていただきます。

平成18年12月8日

下諏訪町長 青 木 悟 様

下諏訪町保育園あり方検討委員会  
委員長 久保田 利 広

(別 紙)

## 1 諮問事項

- (1) 保育園の統廃合について
- (2) 保育園の改築・改修について
- (3) 保育園の民営化等について

## 2 審議経過

平成12年答申・平成16年運営計画・平成18年行財政経営プランの資料等をもとに8月29日から5回にわたり審議した結果、(1) 保育園の統廃合及び(2) 保育園の改築・改修について、下記のとおり中間答申をいたします。

## 3 答申事項

### (1) 保育園の統廃合について

近年の少子化に伴ない保育対象人数の減少、園舎の老朽化、運営費、保育形態の多様化、保護者のニーズ等社会環境に適応した園の運営形態、今後の町の人口推計等を考慮すると、町の規模としては3園で運営するのがよいと考えます。

- 根拠
- ①平成25年(統廃合終了目標)の保育児予測数 390~400名
  - ②1園の適正規模(各年2クラス以上) 150名前後
  - ③国の人口当りの保育園数の標準的基準 10万人で11園
  - ④保育園の削減により、3園の質的充実を可能とする

町の地形的配置や園舎の面積を考慮すると第二保育園・第五保育園・一ツ浜保育園の3園で運営することが効果的と考えます。

したがって、統廃合に伴う廃園の対象は第一保育園・第三保育園・第六保育園・第八保育園とし、町の中心地にある第三保育園など廃園する園については、今後の有効利用も検討することが必要です。

- 根拠
- ①現在150名規模に対応できる園の敷地保有
  - ②3園のバランスのとれた位置関係
  - ③自然に恵まれた環境

## (2) 保育園の改築・改修について

第五保育園については、老朽化が進み大規模な改修が必要であり、多額な経費を要することから、今後の3園の立地バランスを考えると、現在地での全面改築が適当と考えます。

第二保育園については、早急に耐震対策及び保育環境改善のための改修をすべきであると考えます。

一ツ浜保育園についても、必要な修繕を実施していくべきと考えます。

なお、同時実施は、工事中の園児の保育に支障をきたします。園児の安全確保を最優先と考え、短期間に改築・改修を実施する必要があり、そのためには第二保育園の改修後、第五保育園の全面改築を行うことが良いと考えます。

但し、行財政経営プラン上、予算の問題も考えられるため、工事の順番については、理事者の総合判断をお願いします。

## (3) 統廃合、改築・改修にあたっての配慮事項

①通園距離が長くなること、近年の母親の就業率の高まりなどを考え、通園バスの運行、または、駐車場の確保が必要です。

②3園に集約されるため、長時間保育・未満児保育・一時保育・障害児保育など保育内容の全園実施が必要です。

③3園とも150名前後の園児を想定した整備が良いと考えます。

④保護者や保育関係者等の理解が十分得られるよう進めていただき、要望、意見を十分反映させることが必要です。

また、行財政経営プランのスケジュール内には終了するよう、早期に進めることが重要です。

最後に、平成12年の答申から、数回にわたり検討されてきているため、本答申を参考に早急な保育園の統廃合、改築・改修を実施していくことを期待します。

